

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		8,591	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		8,591

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			%		%	%	%
温室効果ガスみなし総排出量					t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対基準年度）					%	%	%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
原単位当たりの排出量	0.1239	/ m ²	0.1202	/ m ²	0.1243	/ m ²	/ m ²
削減率（対基準年度）			3.0	%	▲ 0.3	%	%
原単位当たりのみなし排出量					/ m ²	/ m ²	/ m ²
削減率（対基準年度）					%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和5年度を基準とし令和6年度の削減率は▲0.3%非達成だった。要因としては重油が重油納入業者から納入できなかったため重油焚きの炉筒煙管ボイラーを停止させ、ガス焚きの貫流ボイラーを運用したため48t-CO₂削減された。しかし夏季の平均気温上昇により電気使用量増のため76t-CO₂増加した。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析 設備運転管理方法を文章（管理標準） 主要設備等の点検、検査措置の記録・管理 計測機器の導入により、使用実態を見える化 	中央監視装置を新型BEMS（ビル管理システム）導入により、詳細なエネルギー使用量の把握・計測・記録・分析が可能となりそれらを管理する。	中央監視装置を新型BEMS（ビル管理システム）導入により、詳細なエネルギー使用量の把握・計測・記録・分析が可能となりそれらを管理している。
省エネルギー・省資源源の実践。冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> 空調機設備の運転時間、温度、外気取入量の管理 クールビズ、ウォームビズの推奨 	空調系統の稼働時間短縮、停止可能箇所の終日停止を検討し実施した。また、夏期及び冬期に外気導入量を制限し熱エネルギーの削減をする。	空調系統の稼働時間短縮、停止可能箇所の終日停止を検討し実施した。また、夏期及び冬期に外気導入量を制限し熱エネルギーの削減をしている。
省エネルギー・省資源源の実践・設備機器	<ul style="list-style-type: none"> 中間期における冷凍機や冷温水発生機等は、冷水出口温度を上げて（温水出口温度を下げて）運転 ボイラーは、定期点検等で燃焼状態をチェックし、空気比可能な限り低く設定 	ターボ冷凍機の運転時間を管理し不要な冷水を製造しない。	ターボ冷凍機の運転時間を管理している。
省エネルギー・省資源源の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> LED器具、Hfインバーター蛍光灯器具、LED誘導灯、人感センサー内蔵器具等への更新 白熱灯からLED器具、電球型蛍光灯への取替 照度の測定、器具、ランプの清掃を実施 タイマーの動作状況をチェックし不要点灯防止 	今後はLED化未実施の箇所を随時更新予定。照明の点灯状況を確認し、不要照明の消灯や点灯時間の短縮を実施	今後はLED化未実施の箇所を随時更新予定。（立体駐車場）
省エネルギー・省資源源の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> トイレや倉庫などの使用していない部屋の消灯、昼休み及び全庁一斉定時退庁日の18時30分以降における消灯など、不要な照明機器の消灯を行うとともに、時間外勤務の縮減を図り、照明機器等の電気使用量の削減を図る。 	不要な照明機器の消灯を行う。	不要な照明機器の消灯を行なった。
省エネルギー・省資源源の実践・OA機器	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチはこまめに切り、離席時はノートパソコンの蓋を閉じる。また、複写機やプリンターの省エネモードを活用する。 	複写機、プリンターの省エネモードを活用する。	複写機、プリンターの省エネモードを活用している。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	0.0	%		%		%	59	%

イ 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

- ・環境ラベル商品等の購入、使用（グリーン購入の推進）
- ・両面コピー、裏紙利用等による紙使用量の削減

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

- ・照明の点灯状況を確認し、不要照明の消灯や点灯時間の短縮を実施
- ・不要な空調機の停止を実施
- ・定時退庁に努める。